

ふるさとの民話お話会報告



◆日時：平成30年3月3日(土)13:30~15:30

◆会場：海の道むなかた館・講義室

◆出演：おはなし会昔っコ「民話の会むなかた」(9人)

宗像の民話講座(平成24~27年度郷土文化課及び図書課主催)の受講生を中心に、民話の掘り起こしやその歴史的背景の探索を活動の目標に掲げ、子どもたちにふるさとの民話を語り伝える人を育成するための活動を行っている。

◆来場者：20人

◆内容

1部：民話の背景にある歴史を学ぼう

芦屋(海運業)

お政(赤間宿)

2部：民話やわらべうたの紹介

「いっぽうちょう」(宗像のわらべ歌)

「芦屋の長生きほら貝」(遠賀郡芦屋町)

「百合若大臣」(福岡市玄界島)

「沖ノ島の竹筒」(宗像市沖ノ島)

紙芝居「節婦お政」(宗像市赤間)、「海中のつり鐘」(宗像市鐘崎)



「お政」の時代背景を説明する会員

◆来場者の声：「最初に時代背景を聞いてから、民話を聞くのでわかりやすい」
「地域のお祭りの日にちと重なって、来られない人がいたのが残念です」



語りに聞き入る来場者



会員が作った紙芝居を披露



「民話の会むなかた」のみなさん